

## すてきな集団

二十八期生 石塚 敏之

まず試合成績ですが、高体連主催では男子シングルスでシード一名。団体戦は任期がおわってすぐの僕らが、二年の新人戦で三回戦が最高でした。都立戦（夏）では男子シングルス二位（川端）ダブルス三位（川端・山田）女子団体三位入賞でした。

僕らの代の頃が一番OBの人たちのコーチが多かったのではないかと思えます。夏の合宿ではもちろん大勢の方にコーチしていただきましたが、普段の練習でも度々教えていただいたので恵まれていました。男子は小堀さん、女子は瀬戸さんに特に教わりました。初心者からレギュラーになった人もいました。OBの方々にはその他の面でもいろいろと御世話になりました。

成績はともかく、出席率はよかったです。代がかわってすぐの冬休みは、とれるだけ練習日をとったし、夏もかなりとって、日数は比して多いと思います。休み中はOBが欠かさずきてくれることもあって、トレーニングもかなり充実していました。夏休みに、腹筋と起き上がりを自分でできるだけやれといわれて、百回も二百回もやった人が結構いま

した。学期中のトレーニングは練習後にサーキットやダッシュ等を少し、伝統の井の頭は毎日行った時期も、とびとびになつた時期もありました。始めは完走がやっとだったのに、各自がひとりりで走りにゆくようにもなりました。下の代とも走りました。井の頭と千回ジャンプは今後もずっと続くんでしょうね（池まわり、入口、三周、史上最速タイムは？）。

先輩も後輩もそうだってけれど、何かというと部屋にいました。昼休みもずいぶんあふれてたし、体育の前、式の前、後……。菓という感じでした。練習が終わってあんまり遅くまで話していて、御訪問を受けたこともありました。部誌も先輩から引き継いで続いていたのですが、後半ごろから、活発にまわすというまでには徹底しませんでした。出席表も作って活用しましたが、これも最後の方では不徹底でした。

練習日は僕らの代から必修クラブの時間が一時間加わり、週五日になりました。その関係もあって台が一台ふえて五台になりましたが、ひどく不備な台で困りました。それに、球ひろい用のネットをかってもらったので、大分便利になりました。夏の球のがし腕立てにも影響？ 人数が多いため、練習は十分区切りであり、連続してやれないといううらみはありました。練習の内容はフットワーク、三球目、スマッシュ練習等が中心でした。練習試合もわりと多くやって、都立戦の関係等から親しくなつて練習に来た人もいました。僕たちもすてきな集団の年輪になれてよかつたよかつた。